

2026年4月

ニケキュレーターズセレクション#10 半澤友美展
-それは昨日だったのかもしれないね It might have been yesterday.-
プレスリリース

杉並キャンパス女子美ガレリアニケでは、2026年5月15日(金)から6月19日(金)まで「ニケキュレーターズセレクション#10 半澤友美展 -それは昨日だったのかもしれないね It might have been yesterday.-」を、下記のとおり開催いたしますので、ご覧くださいませようご案内申し上げます。

【展覧会内容】

ニケキュレーターズセレクションとは、女子美ガレリアニケ学芸員が注目している、本学卒業生の若手アーティストを個展形式で紹介する展覧会です。

今年度は、本学立体アート学科出身であり、紙や繊維を用いて作品を制作する半澤友美による展示を行います。

本展示では、彼女の近年の関心である「場所と記憶の相互作用」と「人の在り方の更新過程」について、記録や行為の痕跡を通じて層のように可視化した既存作品を再構築・拡張し、展示します。

3つのセクションに分かれた展示空間の中に、同一の行為や要素、モチーフを繰り返し配置し、日常生活の記録から制作されたドローイングを併置することで、さまざまな形状の「痕跡」が散りばめられ重なり合う展示空間をつくりだします。

展示室の奥へと進むうち、それらの「痕跡」は鑑賞者自身の経験や記憶とも重なっていき、個の成り立ちや、他者・環境との関係について捉え直し、思考を広げるきっかけとなる体験へとつながります。

【開催概要】

展示タイトル:

ニケキュレーターズセレクション#10 半澤友美

-それは昨日だったのかもしれないね It might have been yesterday.-

会期:2026年5月15日(金)～6月19日(金)

開廊時間:10:00～17:00

休廊日:日曜日

会場:女子美術大学杉並キャンパス1号館1階 女子美ガレリアニケ

入場料:無料

主催:女子美術大学美術館 女子美ガレリアニケ

後援:杉並区

【関連イベント】

ギャラリートーク

日時:5月23日(土)14:00～15:00

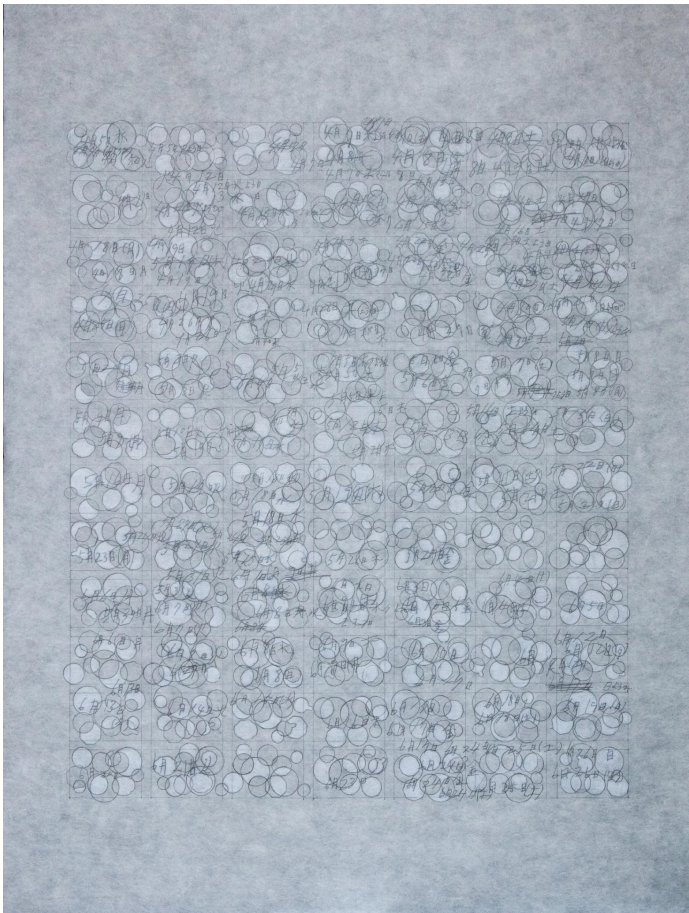
登壇者:半澤友美(本展作家)

ゲスト:内呂博之(ポーラ美術館主任学芸員)

会場:女子美ガレリアニケ

学芸員であり、作品修復も行う内呂博之氏をゲストにお迎えし、作品や展示について紐解きます。

【展示作品(予定)】



《配置》2026年 鉛筆、色鉛筆、和紙 w640xh970mm
Placement, 2026 pencil and colored pencil on Japanese paper w640xh970mm



《Position(彼女と湯呑み)》2021年/ 2026年(拡張) 和紙、柿渋、墨、湯呑み w2700xd300xh1085mm
Position(She with teacup), 2021/ 2026(expanded) Japanese paper, persimmon tannin, ink, Japanese teacup



《庭》2025年/ 2026年(拡張) 檜、和紙に印刷、木 サイズ可変
Garden, 2025/ 2026 (expanded) paper mulberry(kozo), printed Japanese paper, wood variable size



《生々流々》2023年 檜、和紙に印刷 560x41400mm
Live Each Day, 2023 paper mulberry(kozo), printed Japanese paper 560x41400mm

【作家プロフィール】

半澤友美は、紙や繊維を主な素材とし、記憶や時間の痕跡、環境や身体との関係を主題に、彫刻、平面、インスタレーション作品を制作している。女子美術大学卒業後、ポーラ美術振興財団の在外研修員として、アメリカ、メキシコ、カナダなどで調査研修を行う。近年は、個展やポーラ美術館、熊本市現代美術館での企画展への参加に加え、セネガルやタイでのレジデンスプログラムに参加。日常の行為や感覚を素材の重なりとして蓄積し、過去の記憶と現在の行為が交錯し、人や場が絶え間なく更新されていくための状況を可視化する。

ウェブサイト：<https://www.hanzawatomomi.com>

1988 栃木県宇都宮市生まれ

2010 女子美術大学 芸術学部 立体アート学科 卒業

2018 ポーラ美術振興財団 若手芸術家在外研修員(アメリカ、メキシコ、カナダ)

2019 第19回 女子美制作・研究奨励賞

〈主な個展〉

2025 「庭を詠む/ Listening to the Garden」 aaploit(東京)

2024 「Self: multiple presents」ふじ・紙のアートミュージアム(静岡)

2020 「Note」MARUEIDO JAPAN(東京)

2019 「The Histories of the Self」ポーラ美術館 アトリウムギャラリー(神奈川)

〈主なグループ展〉

2025 国際現代芸術祭「中之条ビエンナーレ 2025」中之条町(群馬)

2024 「Intimité」Space Un Tokyo(東京)

2024 「土にうまれる」Dream space gallery(チェンマイ・タイ)

2023 国際現代芸術祭「中之条ビエンナーレ 2023」中之条町(群馬)

2023 「シン・ジャパニーズ・ペインティング」ポーラ美術館(神奈川)

2023 「美の予感2023—象・彫・刻・塑—」高島屋日本橋店、京都店、大阪店、名古屋店、横浜店、新宿店

2022 「PAPER：かみと現代美術」熊本市現代美術館(熊本)

2020 「ポーラ ミュージアム アネックス展2020 -真正と発気-」ポーラ ミュージアム アネックス(東京)

〈レジデンス〉

2025 中之条ビエンナーレ 2025(中之条町・群馬)

2024 Space Unレジデンスプログラム(ダカール・セネガル)

2024 中之条ビエンナーレ国際芸術交流プログラム(チェンマイ・タイ)

2023 中之条ビエンナーレ 2023(中之条町・群馬)

〈コミッションワーク〉

羽田空港 センチュリオン・ラウンジ(東京)/ パークホームズ西荻窪アベニュー(東京)/ パークホームズ荻窪三丁目(東京)/ ザ・リッツ・カールトン福岡(福岡)

グランクレール HARUMI FLAG(東京)/ ホテル虎ノ門ヒルズ(東京)

【問い合わせ先】

女子美ギャラリーニケ

東京都杉並区和田1-49-8 女子美術大学 杉並キャンパス1号館1階

Tel: 03-5340-4688 FAX: 03-5340-4683

Mail: g-nike@venus.joshibi.jp